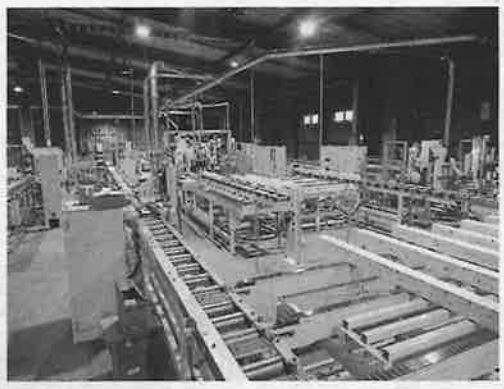
四国の生産体制強化図る

供給不足に柱や羽柄は杉でカバー

マツシマ林工


京都園部工場に導入した柱加工機

マツシマ林工（徳島市、松島章公社長）は、本社工場と京都園部工場（京都府南丹市）、グループ会社のウッド・ストラクチャー（茨城県古河市）の3拠点に加えて、今年2月末に鶴居商店（愛媛県松山市）を傘下に置き、四国での生産体制強化を図る。関東圏を除く3工場は連携して加工に取り組んでいる。

2021年度の加工実績は4工場合計で17万7800坪（前年度比1%増）。昨年は得意先優先で新規顧客は断らざるを得ない状況を招いた。製品不足は厳しく、柱はRウッド・Wウッドが70%を占めていたが50%になり、杉ムクや杉集成が代替、羽柄材を含めて国産材でカバーしている。梁は従来Rにウッド・ストラクチャーは23年に柱加工機、24年に横架材加工機を導入する予定。加工能力は現状の月間5000坪から6000坪になる。

非住宅への対応はこれまで全体の10%弱ぐらいだったが、コロナ禍になり資材不足の影響などで5%程度に減少した。特に1000坪クラスの物件がなくなるという。今後は非住宅への強化を図る方針だ。

CAD要員は現在、四国14人、関東5人のほか、ウッドラックの子会社（ホ.I.チミン）に外注を月間1000坪ペースで出している。人手不足は変わらず、構造計算を行う設計チームも2人だが増員を目指す。

大幅な設備投資計画動き出す

生産性向上、機械老朽化などで

角野産業

角野産業（堺市、正元裕社長）は、大阪府岸和田市にプレカット工場を有している。同社は1997年、角野弘氏（現・特別顧問）が社長に就任したのを機にプレカット事業へ本格参入。木材販売店向けの構造材加工から始まった事業は、今では羽柄材・合板加工や金物工法にも対応できるまでに成長した。現在は、生産性向上や作業省力化、機械老朽化への対応として、拠点拡充を含めた大幅な設備投資計画に動き出している。

同社の2021年度の業績は、売上高が約38億円で増収増益だった。同社の月間加工能力（2シフト）は3300坪だが、一昨年は新型コロナの影響で加工坪数が3000坪に減少。昨年はウッドショックで材料がそろわず受注を制限したこともあり、2800坪まで落ち込んだ。しかし、木材価格高騰から業績は良かった。22年度は売上高が横ばいとなっても、秋口以降は住宅需要の不振が予想されるため、利益は減少すると見ている。

ただ、同社はそのような環境のなかでプレカット事業を進める一方、将来を見据えた設備投資を着々と進めている。同社は今後、顧客との商売を続けるとともに、ジューテックグループのプレカット事業拠点として本格的に動き出すこととなる。今回進められている大幅な設備投資は、まさにその取り組みの一環となるものだ。

今後、岸和田工場の設備投資計画が進む

将来見据え人材育成や設備投資

21年度加工実績は前年度比微増

ナカザワ建販

ナカザワ建販（大阪府和泉市、中澤秀紀社長）は、和歌山県内に在来軸組工法や金物工法向けプレカット（PC）工場を2カ所有している。同社の2021年度（21年5月～22年4月）における木材加工実績は、12万1500坪で20年度比2%増だった。22年度は、住宅需要と木材価格の動向を警戒する一方で、将来を見据えた人材増強や設備投資などに積極的に取り組んでいく考え。

同社の21年度の加工実績が20年度比で微増となったのは、ウッドショックの影響から加工対応できなくなった外注分を自社へ引き上げたことによる。外注先同様、同社もウッドショックの影響を受けながら、先行きの予測による資材調達や代替材での対応で乗り切った。例えばWウッド集成柱の不足をトド松やカラ松、杉の集成柱、Rウッド集成梁の不足はカラ松や杉の集成梁、Wウッド間柱の不足はポプラLVLでそれぞれ補った。

22年度は、木材不足は解消されたものの、合板や住設機器の不足が依然続いている。そのような環境下で、同社は企業力強化を継続的に進めている。例えばCADシステムの人材増強と育成だ。今年は国内で6人、海外（ベトナム）で4人の人材を採用した。また、21年度はもともとあった設計部門をPC事業部（国内・海外）の中に集約する形で新たに立ち上げたが、22年度は同部門が本格的に動き出す。

一方、22年度の設備投資は、老朽化した和歌山第1工場の羽柄材加工機をMPC-25K（宮川工機製）に更新する。また、同第2工場が手狭なため、同第1工場への機械移設・集約を実施する。それにより、同第2工場は合板の加工を中心にする。23年度は同第1工場の横架材・合板加工機をそれぞれ更新する計画だ。

設備の更新・集約を進める（和歌山第1工場）

同社は、今期の見通しとして「夏場以降の資材の手当てについては、合板以外の材料は多くあるためこれ以上増やさない方向だ。また、今年の需要環境については、秋口以降に着工数が落ちると予測しており、需要環境は悪いと考えている」と話す。

住まいづくりの未来環境と流通の改革に挑戦!

■構造材・プレカット　■住宅設備機器
■外壁材・サイディングプレカット　■太陽光発電・蓄電システム
■外装材・エクステリア　■中大規模木造工事
■内装建材・インテリア　■自社物流ネットワーク

ナカザワ建販株式会社
〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野4-3-20
TEL.0725-30-3500 FAX.0725-30-3550
https://www.nakazawa-kenpan.co.jp

マツシマ林工株式会社　本社　〒770-8001 徳島県徳島市津田海岸町3-28
詳しくはこちら　マツシマ林工　検索　京都園部工場　〒622-0051 京都府南丹市園部町横田6-3
(株)ウッド・ストラクチャー　〒306-0223 茨城県古河市上砂井285-3